

平成 30 年第 1 回浅口市教育委員会議事録

1. 招集日時 平成 30 年 1 月 11 日 (木)
2. 場 所 浅口市鴨方図書館視聴覚室
3. 開 会 午後 2 時 30 分
4. 閉 会 午後 3 時 25 分
5. 出席者 中野留美 中務美保子 原田玲子 藤澤弘幸 佐藤賢次

6. 説明のために出席した者の氏名

教 育 次 長	櫛田忠	教育総務課長	難波勝敏
学校教育課長	原田英明	こども未来課	笠原清美
文化振興課長	小山朋子	生涯学習課長	清水真
金光分室長	清水房恵	寄島分室長	田中太志
学校給食センター所長	山本峯廣		
教育総務課	山崎友紀 (事務局)		

7. 傍聴人 なし

8. 議 事

日程 1 議事録署名委員について
浅口市教育委員会議規則第 29 条により中務委員を指名。
(了承)

日程 2 会期について
本日 1 月 11 日の 1 日会期
(承認)

日程 3 議案第 1 号 浅口市立図書館運営協議会委員の委嘱について
(生涯学習課長)
資料により説明。
(承認)

日程 4 諸般の報告について

(学校教育課長)

働き方改革について報告。

(教育委員)

この鴨方東小学校での取り組みを、今後どのように他校へ広げていく予定か。

(学校教育課長)

この鴨方東小学校の取り組みすべてを、そのまま同じように他校で行うことは難しいと考えているため、できることから部分的に取り組んでもらいたいと思う。今、この鴨方東小学校における取り組みの状況とその経過を、市内教職員間で共有した段階である。各校が取り組みやすいものとして、最終退校時刻の設定、自分の退校時刻を周囲に知らせ自分の意識付けを行うカエルボードの作成、集中カードの設置等があると思う。市教育委員会としては、体制整備の面から教職員の時間管理システムの予算化などを考えていきたいと思っている。

(教育委員)

小学校においては比較的この真似をしやすいと思うが、幼稚園や中学校での働き方改革はどのように取り組んでいく予定か。

(学校教育課長)

確かに中学校は放課後に部活動があるため、小学校とは放課後の使い方が違うといえる。ただ、中学校は放課後の代わりに授業間の空き時間があるため、その使い方を改善するといったことが考えられる。なお部活動に関しては、校長の意識付けも変化したことから部活動休養日が徹底してきている。

幼稚園に関しては、こども未来課と連携しながら取り組んでいきたい。

(教育長)

保育園・幼稚園・こども園は、市の庶務管理システムにより時間外勤務が把握できるようになっているが、現在どういった状況か。

(こども未来課長補佐)

行事の前は時間外勤務の申請が増える傾向にはある。

(教育次長)

こども園などは、保育園部分と幼稚園部分があるので勤務ローテーションが複雑という課題がある。また行事に関しては教育的観点から必要とする行事もあるため、極端に減らすことはできない。行事を全て園で行うのではなく、地域の方が得意な分野の行事は、コミュニティ・スクールなどを活用し、力をお借りしながら行うというのが理想ではある。

(教育委員)

行事については、これから教育課程の編成をする時期なので、精査するにはいい時期だと思う。

(教育委員)

不要と感じながら今まで慣例で行っているだけのものがあれば、これを機に洗い出し、シンプル・イズ・ベストという意識をもって本質をとらえた活動をしてほしいと思う。

(教育委員)

働き方改革の本来の目的は、ライフとワークのバランスを取り相乗効果をあげること。校種や学校によって事情がそれぞれ違うと思うが、まずは意識を変えていって本来の目的を達成してほしいと思っている。

(教育長)

確かに最初は意識だけ変えようとしてもなかなか変わらなかった。実際にいろいろな改善活動を行っていくうちに意識が変わっていったという経緯がある。そういった経緯も合わせて伝えていきたいと思っている。

なお、カエルボードの作成等一部実践例を他の学校でも取り組み始めているという話も聞いている。校種によりそれぞれ実態が違うと思うので、実態をしっかりと把握し効率よく仕事が行える方法を考えていきたい。

(学校教育課長)

学習指導要領改訂に関するスケジュールについて報告。

次年度市費講師予算要求について報告。

(教育長)

学習指導要領改訂に関して、幼稚園の教育要領が平成 30 年度から改定となるため、今年度研修を行ったり県から講師を招いたり等対応している。

また、小学校・中学校に関しては、来年度は移行期間ではあるものの実施しなければならない移行措置もあるので、落ちがないように学校も教育委員会もしっかり取り組んでいきたい。

(教育委員)

平成 30 年度の幼稚園教育要領改定は、何が変わるのか。

(教育長)

幼・小・中学校と学びが系統的になったことが大きいと思う。幼稚園教育において育みたい資質・能力が明確化され、幼児教育で育んだ力を小学校での各教科の学びへつなげることがあらわされた。また 3 歳児以降の教育的機能に関して、保育所保育指針、幼稚園教育要領、さらに認定こども園教育・保育要領の内容が近づいてきていると感じた。

(学校教育課長)

卒業（園）式及び入学（園）式出席者案について報告。

(生涯学習課長)

平成 30 年成人式について報告。

日程 5 その他について

(教育委員)

鴨方西幼稚園について、来年度入園予定者が 1 名のみということから今後も入園者が少ないことが予想されるが、何か幼稚園を勧めるよい手段がないだろうか。

(教育次長)

校舎等設備に関していえば、耐震工事を行った結果比較的きれいであると思う。保育料に関していえば、浅口市は幼稚園料金を、政策的に第 1 子一律 3,000 円（月額）としている。鴨方西小学校区に子どもがいないわけではなく、幼稚園入園前から既に保育園に入っている子どもが多いことや、保育園から幼稚園へ入園せずに小学校へ入学することを選択する

ご家庭が多くなってきていることが考えられる。ただ、現在
保育園に通っていない未就学児もいるため、今後園解放など
を通じて鴨方西幼稚園の魅力を知っていただく努力をもっ
とすべきだとは思う。

(教育委員)

園解放など未就学児の保護者の方を対象とした交流はされ
ていると思うが、対象者を広げて地域住民の方も対象とした
公開の仕方をしたらどうだろうか。地域住民の方が幼稚園を
良いと思えるような方法を考えていく必要があると思う。

次回教育員会議

平成 30 年 2 月 14 日 (水) 13 時 30 分～

浅口市中央公民館第 1 会議室

平成 30 年 2 月 14 日

浅口市教育委員会

教 育 長 中野 留美

委 員 中務 美保子

作成職員 山崎 友紀